

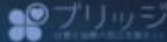
# 第9回 ブリッジ研究会

第9回

2019.11.10

# 合理的配慮

ブリッジ 第9回研究会



## 就労支援における 合理的配慮 の考え方

2019年 11月10日(日) 13:30~16:30

ウィンクあいち1110会議室

一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジでは、医療従事者と企業関係者が垣根を越えて情報や問題を共有し、多様性に富む労働環境を構築することを目的に、毎回異なるテーマで専門の立場からのレクチャーと台場のディスカッションで構成する研究会を開催しています。

9回目のテーマは「就労支援における合理的配慮」です。かつてがん患者が復帰する際の企業にとっての焦点は「安全配慮義務」でした。しかし今、両立支援を推進する観点において、治療を経て働き方の変化を余儀なくされた労働者が働く上で抱える障壁を取り除く「合理的配慮」という考え方も不可欠となってきました。医療者が必要な配慮を提示する時、企業で新たな働き方を調整する時、必ずついておきたい概念です。厚労省の「仕事と治療の両立支援モデル事業」に選定された医療機関でお立ち元ノートの取組に開かれた両者から「安全配慮義務」「合理的配慮」の考え方を学びましょう。

さまざまな立場からの発信で場が活性化し、議論が深まり、具体性のある方法を共に見出していくコミュニケーションとして発展することを願っています。

- 対象 企業関係者・医療関係者・両立支援関係者
- 料金 マリッジ会員：無料 非会員：2,000円  
※当日の入会も可能です
- 定員 30名
- 申込 <https://kokucheese.com/event/index/575604/>  
※ブリッジ即ちからリンクします [仕事 治療 ブリッジ](#)
- 主催 一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジ
- 後援 愛知県、名古屋市、名古屋市医師会、  
(独)労働者健康安全機構 愛知産業保健総合支援センター

### ① 就労支援における合理的配慮



江口 尚 えぐち ひさし

北里大学医学部 公衆衛生学 講師  
社会医学系 指導医・日本産業衛生学会 指導医

#### 【略歴】

- 2001年3月 産業医科大学卒業後、福岡徳洲会病院で臨床研修  
一般財団法人京都工場保健会、  
エクソンモービル有限会社、  
京セラ株式会社滋賀蒲生工場に産業医として勤務
- 2013年8月 北里大学医学部公衆衛生学 助教
- 2017年10月 北里大学医学部公衆衛生学 講師

この間、大阪府立大学大学院で経営学修士、信州大学大学院で医学博士を取得。ハーバード公衆衛生大学院武見国際保健プログラム修了。主な研究テーマは、職場の心理社会的要因と労働者の健康、治療と仕事の両立支援。

【メッセージ】近年、治療と仕事の両立支援への関心が高まっています。かつて産業保健の分野における両立支援は、安全配慮義務の履行を前提に産業医の職務適性評価 (fitness to work) の文脈で使われていました。次第に両立支援が一般化する中で、企業だけではなく医療機関でもその評価を行うことが求められるようになってきたと感じています。そこに、障害者雇用の点から合理的配慮という言葉が入ってきました。今回は合理的配慮に焦点をあて、両立支援、職務の評価、安全配慮義務、について参加者の皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

医療×労働×職場

の多様性の構築

# 第9回 ブリッジ研究会

